

第三中学校・第十中学校統合委員会 要点記録

第 3 回

開催日時	平成 27 年 11 月 5 日(木) 午後 6 時 30 分～8 時 10 分	
開催場所	第三中学校 芹澤文庫（資料室）	
出席者	委員	山口竜弥、岸哲也、荻野嘉彦、前田純子、中村美恵、 佐々木直巳、村上昌子、神山知明、澤野ゆり、加藤洋右、 三ツ谷和身、野澤菊枝、神谷真美、五十川由紀子、 齊藤久、弓田豊、木村知広、辻成一郎、板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当
会議次第	<p>【議事】</p> <p>1 第三中学校の仮校舎改修について</p> <p>2 その他</p>	

第 3 回 第三中学校・第十中学校統合委員会 会議要旨

副委員長

これより第 3 回の統合委員会を開会する。

本日は委員長に変わって副委員長の私が議事を進行する。速やかな議事進行に協力をお願いしたい。それでは冒頭に、本日、傍聴を希望される方が 1 名いるので、傍聴を許可したいと思うがよろしいか。

— 異議なし —

副委員長

傍聴者は、傍聴券の裏側に記述されている注意事項を守って、議事の進行を妨げないようにお願いする。

1 議事

議事(1)第三中学校の仮校舎改修について

副委員長

それでは議事に入る。初めに、1 番目、第三中学校の仮校舎改修についてである。資料として第三中学校の施設台帳図面を配付しているので、これを参考に、まずは校舎の見学をして、その後、現時点での教育委員会事務局の施設整備に当たったの考え方を聞きたいと思う。

— 施設見学 —

副委員長

実際に施設を見てもらったが、感想や意見を伺う前に、第三中学校の仮校舎の改修について、現時点で教育委員会がどのように考えているのか説明をしてもらう。

■「第三中学校の仮校舎改修について」を子ども教育施設担当より説明

(概要)

第三中学校の仮校舎改修については、当初統合前年（平成29年度）の夏休み期間を中心に実施することを想定していたが、シロアリ被害箇所の補修や換気設備の取替等といった学校特有の改修も必要なため、統合2年前の平成28年度より2か年で実施することとする。

1. 改修の基本的な考え方

- ① 統合後の生徒数や学級数に対応した教室等の整備
- ② 安全・安心な施設の確保
- ③ 教育環境の質的確保
- ④ その他、学校の特殊事情等による必要な改修

2. 改修時期（予定）

平成28年7月～8月

平成29年7月～8月

※工事によっては、部分的に9月まで改修を行う箇所あり

3. 主な改修内容

◇普通教室は12室を確保

- ① 統合後の生徒数や学級数に対応した教室等の整備
 - ・教室整備
 - ・教室床塗装
 - ・教室壁塗装
 - ・普通教室冷暖房設備設置（未設置箇所）
 - ・給食室改修
- ② 安全・安心な施設の確保
 - ・屋上防水改修（必要な部分）
 - ・屋上フェンス改修（必要な部分）
 - ・外壁改修（必要な部分）
 - ・階段改修
 - ・体育館床塗装
 - ・体育館壁塗装
- ③ 教育環境の質的確保
 - ・特別教室冷暖房設備設置
 - ・トイレ改修（洋式増設）
 - ・内壁改修（塗装含む）
- ④ その他、学校の特殊事情等による必要な改修
 - ・床改修（塗装含む）
 - ・換気設備改修

副委員長

子ども教育施設担当から第三中学校の仮校舎改修について説明があったが、この説明の内容と施設の見学を踏まえて、皆さんの意見、感想等を伺いたい。何かあるか。

委員

生徒数が多くなると、職員室はどうなるのか。統合によって教職員数が増えたときに入りきれぬのかどうか心配である。

子ども教育施設担当

現在のところ、職員室を改修する予定はないが、必要があれば検討していきたい。

委員

三中は現在、6学級だが、帰国生のための加配や、理科の教員の加配、あるいは不登校対応教員ということで、通常より多くの教員が配置されているが入りきれている。職員室を大きくしなければいけないということはないと思う。

副委員長

ほかに意見や感想があれば聞きたい。

委員

第二校舎の体育館の下の1階部分は、もともとは真ん中が廊下で両側に教室があって、その廊下を歩いて第三校舎まで行けたのではないかと思うが、現在は第二校舎の横を通って第三校舎に移動している。一応、屋根はあるが、雨の強い日は傘を差して歩かないと濡れるくらいの状況になることもある。そこのところを、何か一工夫できるのであればお願いしたい。

副委員長

ほかに何かあるか。

委員

図書室は、部屋自体も狭く、蔵書が少ない気がした。もう少し充実させてほしい。

副委員長

ほかに何か意見や感想はあるか。

委員

今回の整備では、バリアフリー対応は何か考えているのか。

子ども教育施設担当

バリアフリー対応が必要だという認識はあるが、今回の改修工事で可能なことと、そうではないことがあると思う。可能な範囲で段差の解消やスロープの設置などの対策をしていきたい。

副委員長

ほか、特に何か、これだけは言っておきたいということはあるか。

委員

スリッパで歩いたせいかもしれないが、階段の床がすり減っていて滑る。

子ども教育施設担当

階段も改修する方向で考えている。

副委員長

ほか、よろしいか。

委員

特に第二校舎はにおいがひどかったが、その対策としてはどのような工事をする予定か。

子ども教育施設担当

具体的な工事内容はこれからのことになるが、一つは換気がうまくできない状態を解消しなければいけないと考えている。

副委員長

ほかに何かあるか。

委員

においの強い部屋だが、漆喰の性質を持った壁紙などもあり、それである程度対処できるのではないかと思う。そういうことも含めて考えたほうが良いと思う。

子ども教育施設担当

参考にさせていただく。

副委員長

ほかは、よろしいか。

事務局

事務局から発言させていただく。本日、第三中学校の仮校舎改修についてということで、改修にあたっての考え方や主な改修内容を示しているが、改修内容が確定しているわけではない。今後、具体的な改修内容を検討し、予算の議決を得ていく必要がある。また、夏休み期間を中心とした工事とはいえ、学校運営をしながら同時に改修工事を行うので、教育活動に可能な限り支障がないように進めてもらう必要もある。できる限りの対応をするように事務局からも要望していくが、統合委員会としても、この施設改修に当たって、特にこういうことに配慮してほしいとか、こういうことを優先すべきなど、意見としてまとめて教育委員会に提出していきたいと考えている。

もしそういう方向で協議を進めてもらえるようならば、次回以降の統合委員会に、これまでに出示された意見や本日の意見などを案としてまとめた資料を準備したいと考えている。

副委員長

委員のみなさんの意見を取りまとめて、統合委員会の意見として教育委員会に提出したいということなので、何か気づいたこと、これだけは言っておきたいということがあれば伺いたい。

委員

毎日子どもたちと過ごし、学校のことを一番わかっているのは教職員だと思うので、学校の意見をしっかりと聞いて、改修内容に反映してほしいと思う。

委員

第三中学校の校舎改修の件では、教育委員会事務局の幹部職員が第三中学校の校舎を視察するなど実態を確認してくれている。また、学校施設を所管する分野の職員とも、現在の校舎の課題などを学校から説明してもらいながら、改修内容の検討を始めている。当初は、統合前年の29年度の1年でできる工事のみしかやらない予定だったが、28年度にも工事をしてもらうことになった。第三中学校は新校舎に移転するまでの間だけの使用になるが、統合新校としてのスタートに不足のないように、教育委員会と相談しながら計画を立てている。学校としてはそれに沿って実施できるように希望していきたい。

副委員長

私からもよろしいか。私もPTAの会長会で、工事は今年からでも始めて3年かけてやってほしいということと、三中の子どもたちに迷惑がかからないように、少しでも前倒してやってほしいというお願いをしてきた。本日の子ども教育施設担当の説明では28年度もやるし、今年度もできるところから手をつけたいということであった。できるだけ在校生の三中生に迷惑がかからないように工事の計画をしてもらいたい。

もう一点、特別教室の冷房化についての説明もあったが、新校として開校するからには、特別教室にエアコンがないということはないのだろうと考えているが、中野中の話を聞いていると、全室にエアコンはあるのだけれども、電気代の節約のため、使用を制限しなければならないというような話も聞いている。三中は神田川沿いの虫の問題があるが、必要な場所にサッシの網戸がない。取りつけようと思えば取りつけられると思うので、このことも検討してもらいたい。

2 その他

副委員長

その他に移る。事務局から1件と、教育委員会から1件報告がある。

先に事務局から報告してもらう。

事務局

前回の統合委員会で、大気汚染状況等の測定結果についての質問があったので、この件について報告する。

東京都では都内の大気汚染状況を把握するため、大気汚染防止法に基づき、住宅地域に一般環境大気測定局47局と、道路沿道に自動車排出ガス測定局35局を設置し、大気汚染状況の常時監視を行っている。十中の周辺では東部区民活動センターの位置に自動車排出ガス測定局として「山

手通り東中野」があり、毎時の測定結果を月報データとして東京都環境局のホームページで公開している。

また、環境局では平成26年度の測定結果を取りまとめて「平成26年度大気汚染状況の測定結果について」という資料も公表している。内容を見ると、微小粒子状物質（PM2.5）が環境基準に達成していないことが読み取れるが、都全体でも一般環境大気測定局で46局中3局の達成で、自動車排出ガス測定局ではすべての測定局で達成していない。ただし、国の定めた注意喚起のための暫定指針値を超えた日は1日もないということである。その他、大気汚染濃度の上位局も公表されているが、山手通り東中野はすべての項目で上位局には入っていない。

自動車騒音振動については、中野区内の主要な12道路について、自動車の騒音、振動、交通量を調査し、区のホームページで公表している。十中の周辺では東部区民活動センターの周辺で調査を行っており、騒音、振動とも基準値をクリアしている。

測定状況としては、このような結果となっているが、十中は幹線道路の近くということもあり、住宅街よりは救急車の音だとか、いろいろと騒音があるだろうと思う。今後、改築の検討を進めて行く中で、例えば前回委員から提案のあった二重サッシや、空調設備などの検討をしていけたらと考えている。

副委員長

事務局から説明があったが、この件について何か質問はあるか。

委員

近隣の測定結果を見せてもらったが、実際に十中の位置で測定をした方がよいと思うので検討してもらいたい。それと環境基準値をクリアしているから大丈夫ということではなく、実際の学校生活の中でどれぐらいの騒音や振動を感じているのかということが重要だと思う。

もう一つ確認だが、交通量の調査は山手通りで、地下の高速は入っていないということでしょうか。

事務局

そのとおり。

委員

測定位置が東部区民活動センターということで、山手通りの外回りで交差点に向かって下り坂のところに位置している。そうするとある程度の渋滞が発生しても、発進負荷はそんなにかからないが、十中のところは中野坂上を先頭にした山手通り内側の渋滞というのがあって、そこは上り坂になっている。騒音は走行時よりも発進時のほうが高いので、実際に学校を建てる位置での調査を要望したい。

もう一つは、二重サッシにするだとか、空調を入れたとしても、電気代がかさむので中間期は窓を開けるということになるのであれば、最初から窓をあけることを前提に設計をすべきだと思う。ぜひそこを加味して計画をしてほしい。

副委員長

結果をみて、山手通りは交通量が多いなと感じた。今後の十中の改築に向けて、いい建物となるように、皆さんの意見を聞きながら進めていきたいと思う。

では、他に意見がなければ、続いて教育委員会から、第三中学校と第十中学校統合新校の校舎整備について報告してもらおう。

学校再編担当

第三中学校・第十中学校統合新校改築にかかる基本構想・基本計画策定支援業務委託について報告する。10月30日の教育委員会でも同じ内容で報告をしている。統合新校の新校舎については、校舎、屋内運動場などの学校施設だけでなく、立地条件や敷地の有効な活用を踏まえて、他の機能を導入していく方向で基本構想・基本計画策定支援業務委託契約の手続きを進めていくという内容である。

現在の段階で導入を予定している機能としては、図書館機能、教育センター機能、子ども家庭支援センター機能である。こうしたものを入れた形で学校の建て替えを検討していきたいという

ことである。

今後のスケジュールとしては、28年7月に基本構想・基本計画を策定、28・29年度で基本設計・実施設計策定。30年4月には三中の位置で統合新校を開校し、30・31年度に改築工事、32年度に竣工・新校舎へ移転という計画である。

統合委員会では、どういう学校あるいは校舎にしていくのかということを検討してもらうことになる。学校以外の機能については、教育委員会で議論していくことになるかと思うが、統合委員会には適宜情報を入れながら進めていきたい。

副委員長

本件について何か意見等はあるか。

委員

学校図書館とは別に図書館を併設するのか、それとも学校図書館を地域に開放するのか、その辺がはっきりとしない。

子ども教育施設担当

学校図書館を地域に開放するのではなく、図書館を学校に併設する方向で考えている。もちろん学校が授業などで活用することも考えていきたい。

委員

つまり学校内ではないということによいか。

子ども教育施設担当

別棟にするのか一体的な建物にするのか、まだ、そこまでは決まっていない。今後、議論が必要だと思う。

副委員長

ほかに意見はあるか。

委員

どういう建物を建てたいのかということがないと、相手は仕事を受けてくれないと思う。例えば、学校をつくって、その上に図書館をつくるというようなイメージがあるのではないかと思う。大体何階建てぐらいの建物をイメージしているのか。

子ども教育施設担当

どういう施設配置にするのかだとか、何階建ての建物にするのかということは決めていない。今後、基本構想・基本計画を検討していく中で決まってくる。統合委員会の意見も十分に伺いながら検討を進めていきたい。

副委員長

ほかに意見はあるか。

委員

複合施設にするという考え方のようだが、図書館機能だとか教育センター機能を併設することによって学校の施設に影響を与えないでほしい。簡単に言うと、図書館が入ったから学校の教室の数が減ってしまっただとか、そういったことはないようにしてほしい。その上で図書館など、様々な区の施設が入ることならば、施設の有効利用という視点からはよいのではないかと思う。

委員

駅に小学校ができるという時代なので、学校だけ独立して建てる時代ではないのかなとは思いますが、セキュリティはしっかりとしてほしい。

副委員長

中野中の新校舎では、地域にプールを開放しているが、利用者と生徒の動線が重なっていて、セキュリティということではどうなのかなと思う。このことは教育委員会でもよく考えていただきたい。

併設施設については、せっかく容積に余裕があるのだから、それを活用したいものを建ててほしいと思う。ただ、子ども家庭支援センター機能とか教育センター機能を中野坂上に持

ってくるということについては、区の中の全体のビジョンとしてどうなのだろうと思う。南に1カ所、北に1カ所みたいな全体のビジョンがあって、十中の位置に設置するというのであればよいが、中野駅周辺の再開発が進んだときには、また、そこに移すというような無駄なことは避けてもらいたい。土地を有効活用するのは私も賛成だが、全体のビジョンをしっかりとって、きちんと考えてもらいたいと思う。

学校再編担当

今の意見は持ち帰らせていただく。公共施設の配置については、これから計画が出てくると聞いており、来年度第1回定例会に向けて内部でも検討が進んでいるという状況である。施設配置についての考え方も出てくだろうと考えている。

セキュリティの問題や、子どもたちの動線については、統合委員会の中でしっかりチェックしてもらいながらやっていければと考えている。

副委員長

ほかに意見はあるか。

委員

基本構想・基本計画を策定する中で、これらの導入を予定しているものが何らかの事情で入らなくなるとか、シンプルな学校だけの計画になるという可能性もあるのか。

学校再編担当

具体的なところは、今後の検討となる。複合施設とする方向性をもって進めていくが、最終的にどうなるのかは、今の段階では明言できない。

委員

セキュリティの問題など、いろいろと課題はあると思う。学校を運営していくことに無理があるのならば諦めることも必要だと思う。中学校の校舎になるということが第一の目的である。

学校再編担当

まずは学校施設をきちんと整備することが先決である。校庭が狭くなるとか、教室数が確保できないということはあり得ない。複合施設の検討は、そういった条件を満たしたうえでのことだと考えている。

副委員長

ほかに意見はあるか。

意見等はないようなので、次回、第4回統合委員会の日程について事務局の説明を求める。

事務局

次回、第4回からは、新校舎の基本構想・基本計画についての協議を予定しているが、基本構想・基本計画の策定を支援してもらう業者は1月に決まる予定である。受託業者には統合委員会にも出席してもらう予定になっているので、業者が決まったあとに日程調整したいと考えている。

また、第2回、第3回は施設見学のため学校で開催したが、次回からは区民活動センターで開催することとし、第4回は東部区民活動センターで午後6時半からとしたい。

副委員長

それでは、回りの統合委員会は、事務局から各委員に日程調整の連絡を入れてもらうこととし、場所は東部区民活動センター、時間は午後6時半からということでお願いしたい。

以上で、本日予定していた議事は全て終了した。本日の統合委員会はこれをもって終了とする。